当院では、下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお知らせください。

## 受付番号

研究課題名	主治医の予後予測と緩和ケアチーム(PCT)の課題
WI YERKAS- II	~予後予測ツールを用いた後方視的調査から~
<b>火陸の延売まれ</b> 来	氏名物原の子
当院の研究責任者	
(所属)	所属看護部/がん医療推進センター
本研究の目的(概要) 	当院の 2017 年の緩和ケアチーム登録では、緩和ケア病棟(PCU)への
	転院が 30.9%と良好な連携結果であるが、PCU 転院依頼書に記載さ
	れる主治医の推定余命を長い印象を持ち、更に PCU へ転院後の報告
	書に「こんなに早く逝くとは思わなかった」といった内容が多いと感
	じた。主治医の予後予測が正確さを増せば、患者や家族の認識・反応
	に違いが出て残りの時間が少しでも有意義なものとなるのではない
	かと考え、今回、後方的に予後予測ツールを用いて調査を行い PCT
	の課題を見い出すことを目的とする。
調査データの該当期間	2018年4月1日~9月30日
研究の方法	2018 年 4 月~9 月に唐津赤十字病院から近隣の緩和ケア病棟へ転院
(使用する情報等)	された患者さん 20 名に対し、予後予測ツール(PPI, PaP, PiPS)を用
	いて後方視的調査を行う
試料/他研究機関への	試料/他研究機関への提供はない
提供及び提供方法	
	ID や氏名は使用せず、個人が特定されないように配慮し、唐津赤十
個人情報の取り扱い	字病院の倫理委員会の承認を得ている。
本研究の資金源(利益相反)	
	【研究担当者】氏 名 牧原 りつ子
お問い合わせ先	看護部 / がん医療推進センター
	佐賀県唐津市和多田 2430
	TEL (0955) 72-5111 FAX (0955) 73-9530
	, 11, 1
VIII J	